

からだ環境総研 株式会社

〒811-3217 福岡県福津市中央3丁目8-12 白川ビル2F
TEL 0940-38-4044 HP <http://kokaken.jp/>業 種 教育、学習支援業
従業員数 4名
資 本 金 300万円

事業内容

幼児期の成長を可視化し、健全な発育に向けて改善を提案します

2001年創業。創業者が学び身に付けた「子どもの成長は足で決まる」の考えの下、幼児保育機関での啓発活動と研修、足測定・分析・診断サービスを2本柱に幼児の健全な成長をサポートしている。

発育発達測定において、年齢ごとの豊富な測定データに基づいた標準値を保有していることを強みに、分析・診断の精度向上に役立てている。



改善成果のポイント

訪問支援回数 | 16回 (支援期間: 16カ月)

- 測定データの解析作業をデジタル技術を活用し効率化
- データ採取～診断コメントの業務を標準化し効率化



Q どんな困りごと(課題)がありましたか？

体格は、遺伝のほかに栄養・運動・睡眠・ストレスなど日常の生活習慣による影響が多いことが知られています。当社は、幼児期の健全な成長・発達を体格から検証し改善提案を行い、合わせて成長を助ける用品を販売しています。

幼児施設や家庭を訪問し、専用の足首/足裏測定器で測定データを採取、自社に持ち帰り、データ加工、分析ソフトなどを用い、健全な成長と関連の高い複数の特徴量を抽出、標準値との偏差をもとに総合診断し、改善提案シートを作成し提供しています。全国からお問合せを頂いています。

しかしながら、出張訪問および測定作業と、自社に持ち帰ってのデータ加工、改善提案シート作成に労力がかかっており、収益性が低いこと、処理能力に限界があること、また、営業活動に時間を作ることが難しいのが課題でした。

そこで今回、作業を効率化し、収益性向上と余力の創出を目指してセンターの支援を受けることにしました。

課題 4



幼児施設を訪問、姿勢を整えて測定



足首、足裏の特徴量を読み取る

Q 改善の取り組み内容を教えてください

足測定では、採取した画像から足首角度や幅、面積、重心バランスなどの特徴量抽出作業に着目したところ、撮像画面中の被写体の向きや角度にバラツキがあり、その補正作業に時間を掛けていたので、撮像作業手順書に反映し補正作業を低減しました。

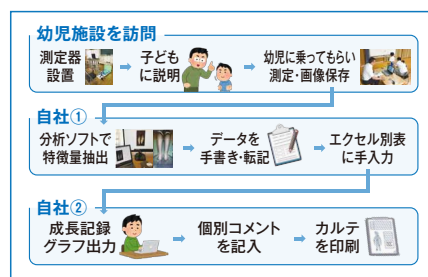
また、特徴量抽出は、画像に補助線を引き、ピッチを読み取る、など手間が掛かっていたので、画像処理ソフトを活用し半自動で抽出できるようにし、更にデータを自動保存できるようにしました。

個々の特徴量の値から、成長過程での課題やアクションを読み取り、コメントをしていくのですが、過去の実績から約15種類に分類層別でできることが分かっているので、毎回、文字入力するのではなく、定型文をプルダウンで選択できるようにソフトを改良しました。

更に、自社で行う分析・コメント入力も作業手順書を作成し、スタッフのできる業務範囲を増やしたことで、リーダーに余力を生むことができました。



分析結果と改善提案コメントを作成



全体業務フロー

Q 取組んで良くなった点を教えてください

メインの効果
(改善点)

訪問時の撮像作業の手順化により、後補正の手間がなくなり、誰でも短時間に行えるようになりました。

ソフトの導入と作業手順化により、分析以外の業務(特徴量抽出・保存・診断結果と改善提案の記入)をスタッフが短時間(月50時間の低減)に行えるようになりました。

また、リーダーの余力(月あたり約30時間)を生むことができました。



改善の2つのポイント



副次効果

撮像自体の作業効率化、誰でもできる下地ができ、県外、離島など遠隔地にサテライトスタッフを置き、対応できる下地を築くことができました。



今後の目標

リーダー、スタッフとも余力が生まれ、生産能力が拡大したので、営業活動の比重を増やしていきます。

保存データを活用し経年変化分析などサービス向上につなげます。更なる効率化に向け、AIの導入を検討しています。



デジタル化後の職場の風景

企業様の声

今までは業務効率化を目指し取り組みを行ってきたが専門知識もなく効果が出ず困っていました。生産性アドバイザーから様々な対策や改善方法をご提案いただき、短期間で作業効率を上げることを実現できました。また、生産性を上げるための対策の効果的な優先度の付け方など、今後業務改善につながる取組み手順もご指導いただいたので更なる生産性向上を目指します。

からだ環境総研 株式会社
営業部生産管理
柴田 拓典 様

生産性アドバイザーから一言

からだ環境総研様とは、3ステップ(①解析業務の効率化②顧客拡大③AIを活用した更なる効率化)をもって生産性を向上し、持続可能な企業を目指す事で支援活動を進めてきました。子供の成長には発育発達の測定と分析解析による改善提案は不可欠であると再認識させていただき、一人でも多くの分析が行え、ひと家族でも多くの笑顔の為のサポートができた事、感謝しております。

生産性アドバイザー
橋本 太